

科目名	ECN202: 経済学 B				担当教員	孫 明超		
開講期	秋	開講時限	月 5 限	研究室	4号館2階 講師控室	オフィスアワー	P.19 を参照のこと	
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2年	連絡先		
DP 及び 学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要					学修成果獲得の観点	
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。					2-①	
キーワード	経済学、マクロ経済学、国民所得、経済成長、貯蓄と投資、総需要と総供給、輸出と輸入							
授業の概要	「経済学はどんなものか?」、「経済学は何の役に立つか?」というシンプルな質問に答えるため、マクロ経済学の視点からまず基礎的な概念を学ぶ。その後、経済学の考え方を分析ツールとして、現実社会の経済現象をどのように理解すべきか、自身の経済活動をどのように行うべきかについて学ぶ。							
達成目標 (授業の目的)	自分が暮らしている社会における日常生活や社会問題を経済学的な考え方で理解する。さらに、日常の消費、貯蓄や投資などの個人の経済活動をより賢く行える。							
到達目標 (学修成果)	①教科書の該当部分を予習した上、講義を通して経済学の基礎的な概念を理解し、毎回の小テストの問題を解くことができる。(評価①) ②授業、予習または復習を通して身につけた経済学的な考え方で積極的かつ的確に発言できる。(評価②) ③世界で起こる経済現象を授業で学んだ経済学用語や理論を用いて、自分の言葉で分析・説明し、考察や自分の考えも踏まえて論述できる。(評価③)							
評価方法	①授業毎の小テスト：授業終了時まで提出 (4%×14回=56%) ②授業内での発言：授業中の質問に的確に答えられる (7%×2回=14%) ③期末レポート：1,200~1,500字のレポート (30%)							
評価基準	①授業毎の小テスト：授業毎に実施する小テスト (選択式3~4問) を授業終了時まで提出する。 ②授業内での発言：14回の授業のうち、最大2回分の点数が取れる。 ③期末レポート：教科書、講義中で紹介された事例を参考した上、経済現象の事例を自らで考え、授業で扱った経済学の専門用語を使って説明できる。その上、自身の考えや考察を論述できる。(自分の論点を述べる際に、関連論文、政府報告書または新聞記事などの引用は認められるが、自分の言葉ではなく、コピペまたは引用の割合が全体の2割以上に占める場合、0点となる)							
準備学修 の時間	本科目の一回 (100分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 190分が求められる。							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	ガイダンス 国民所得の測定 (1) 国内総生産の測定	講義、質疑応答、テスト演習	授業内容をテキストで予習・復習 (第8章 第1-2節)
2	国民所得の測定 (1) GDPの構成要素、名目GDPと実質GDP	講義、質疑応答、テスト演習	授業内容をテキストで予習・復習 (第8章 第3-5節)
3	生計費の測定 (1) 消費者物価指数	講義、質疑応答、テスト演習	授業内容をテキストで予習・復習 (第9章 第1節)
4	生計費の測定 (2) インフレーション	講義、質疑応答、テスト演習	授業内容をテキストで予習・復習 (第9章 第2節)
5	生産と成長 (1) 生産性、経済成長と公共政策	講義、質疑応答、テスト演習	授業内容をテキストで予習・復習 (第10章 第1-3節)
6	生産と成長 (2) 失業	講義、質疑応答、テスト演習	授業内容をテキストで予習・復習 (第10章 付論)

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	貯蓄、投資と金融システム（1） 金融市場、貯蓄と投資	講義、質疑応答、テスト演習	授業内容をテキストで予習・復習（第11章 第1-2節）
8	貯蓄、投資と金融システム（2） 貸付資金市場、貨幣システム	講義、質疑応答、テスト演習	授業内容をテキストで予習・復習（第11章 第3節、付論1）
9	総需要と総供給（1） 短期の経済変動	講義、質疑応答、テスト演習	授業内容をテキストで予習・復習（第12章 第1-2節）
10	総需要と総供給（2） 総需要曲線と総供給曲線	講義、質疑応答、テスト演習	授業内容をテキストで予習・復習（第12章 第3-4節）
11	総需要と総供給（3） 経済変動の原因	講義、質疑応答、テスト演習	授業内容をテキストで予習・復習（第12章 第5節）
12	開放マクロ経済学（1） 輸出、輸入	講義、質疑応答、テスト演習	授業内容をテキストで予習・復習（第13章 第1-2節）
13	開放マクロ経済学（2） 購買力平価、為替市場	講義、質疑応答、テスト演習	授業内容をテキストで予習・復習（第13章 第3節）、期末レポート提出
定期試験を実施しない Final Exam will not be held			
14	マクロ経済学のまとめ、期末レポートの講評	講義、質疑応答	授業の振り返り

テキスト	マンキュー・N・グレゴリー著、足立英之、石川城太、小川英治、地主敏樹、中馬宏之、柳川隆訳「マンキュー入門経済学（第3版）」東洋経済新報社		
参考書	① 日経ビジネス編集「日本経済入門 第2版（日経ビジネス）」日経BP ② 齊藤誠、岩本康志、太田聰一、柴田章久著「マクロ経済学 新版」有斐閣 (数学を使ってしっかりマクロ経済学の基礎を学びたい人にはおすすめ)		
その他 特記事項	①難しい数学を使わず、マクロ経済学の入門レベルの講義を行う。 ②教科書のすべての内容を解説しきれないので、無理のない範囲で予習または復習を望む。		